

■ 会議の目的

- ① 子育て世代にやさしい環境の醸成を、企業や団体、個人が行政とともに進めていこうという機運を高める、目標となる宣言をつくり、宣言する
- ② 福知山市ベビーファースト宣言を浸透させ、機運をつくる取組について考える。

(目指す姿) 子育てにやさしいまちづくり

『まちづくり構想 福知山』 3-2-2「地域全体で子育てを支える機運の醸成

『ベビーファースト宣言』

地域全体で子育てを支える機運の醸成のために・・・

- ・ 企業と（が）取組む点
- ・ 地域団体、個人と（が）取組む点

子ども・子育て支援事業計画

「子どもがまんなか 未来へつなぐたからもの」

- 基本目標 1 子どもの心豊かな育ちを支える環境づくりをすすめます！
- 基本目標 2 地域とのつながりで子どもを育むまちづくりをすすめます！
- 基本目標 3 多様なライフスタイルの選択と健康づくりを支えます！
- 基本目標 4 安心・安全な子育て環境をつくります！
- 基本目標 5 すべての子どもが将来の夢を実現できる社会を目指します！



施設の充実

▶WEラブ赤ちゃんプロジェクト

- ・「泣いてもかましまへん」というやさしい雰囲気は産後のお母さんや、子連れのお父さんにはありがたいので、広がって欲しい。子育て中はそういう寛容なお店に行きたい。
- ・貼ってあるお店が分かたりするといい。知らないから行く場所が固定されがちにもなる。
- ・このプロジェクトを作られた方の思いなどが届くように、二次元コードをステッカーに付けてもいいのではないかな。

▶子どもの遊び場等について

- ・年齢に応じた遊び場があるのが望ましい。三段池公園のわんぱく広場も大きい子どもが走り回っていると危ないと感じる。
- ・児童科学館とか、児童館の体育館とか室内で遊べるが、小さい子と一緒にだと危ないこともある。
- ・子どもが室内で体を動かして遊ぶことができる場所(例:あやっこひろば等)が市内にはない。ただ、企業がそういった施設をつくり、運営するというのは、事業として成立しないと考える。
- ・雨の日は、児童館に行ったりしていた。公民館や児童館が利便性良く活用できるといいと思う。ただ、エアコンの整備が必要。

- ・ 子ども連れでも気軽に立ち寄れる店舗を増やすために、既存の取組を広げていくことが考えられる。
- ・ 子どもの遊び場（施設等の運営）は民間事業者では考えにくい。市が考えていくこと。



相談・交流の場

▶地域での交流の場づくり

- ・ 転入者にとっては、友達がいない、頼れる親族もないという状況になりやすい。
- ・ 小学生までの間は、なかなか交流する機会がない。就学するとPTAや子ども会でつながりができたりする。
- ・ まずは、話を聞いてもらえることが第一であり、専門職の人でなくてもいい。気軽に話せる間柄をつくる必要がある。
- ・ おじいちゃんやおばあちゃんなど、あたたかく見守ってくれる人がそういった場の支援者としていてくれるといい。赤ちゃんから高齢者までが大切にされている空気が地域でも広がる。
- ・ 情報の収集が難しい場合もあるので、自治会単位での支援が必要になってくる。
- ・ すくすくひろば等の地域子育て支援拠点のように話を聞いてもらえる場所、大人もほっとできる場所があるといい。

▶子ども会活動について

- ・ 「めんどろ」という負のイメージが先行しており、負担でしかないと感じている保護者も多い。
- ・ 子ども会に入らない人が増え、活動がないような地域もある。
- ・ 昔のような雰囲気ではないので、時代に合わせた変化も大切。まずは、地域が楽しいと思える活動ができるのがよい。

- ・ 子どもも参加対象にした地域でのイベントが交流をうみ、社会全体で子育てをすすめる機運につながっていく。
- ・ 「地域活動が負担」というイメージが先行しているので、大人が楽しむことができる地域活動に転換していけるとよい。



事業者や地域、団体が取り組む部分を中心に

施設の充実

- ・安心して遊ぶことができる室内の遊び場、公園
- ・安全な道路の整備
- ・充実した医療機関
- ・子どもと気軽に立ち寄れるお店

経済的支援

- ・金銭面での負担軽減
- ・保育料や教育費の軽減
- ・給食費が無料

人の生み出す雰囲気

- ・子ども、子育て当事者、支援者への寛容な雰囲気
- ・地域で大切にされていることを実感
- ・世代間のコミュニケーション
- ・ジェンダー平等の意識

子育てにやさしいまち

保育・教育環境の充実

- ・保育施設の確保
- ・病児保育の充実
- ・託児やベビーシッター
- ・多様な教育の選択肢
- ・放課後児童クラブの充実
- ・子どもの人権を意識した校則

相談・交流の場

- ・すぐに悩みを相談できる
- ・子どもや子育て世代が集まれるコミュニティ
- ・子ども向けのイベント

安心の職場環境

- ・ワークライフバランス重視
- ・産前産後でも働きやすい
- ・育児休暇当たり前の雰囲気

▶ 子育てにやさしいまちづくりの取組の情報発信⇒機運醸成につなげる



子育てにやさしいまち

人の生み出す雰囲気

- 子ども、子育て、支援者に寛容な雰囲気
- 地域で大切にされていることを実感
- 世代間のコミュニケーション
- ジェンダー平等の意識

情報提供

- 情報が民間のものもまとめて発信を
- イメージできるように分かりやすいものを
- 発信されていない情報も含めてまとめているものが欲しい

▶市だけでなく民間も含めた情報発信

施設の充実

店舗の子連れにやさしい雰囲気

- 「泣いてもかましません」とあるとありがたい
- 市内のお店で知らない、気が付かない場所が分かるといい
- 発起人の思いとともに伝わって欲しい
- 貼ってあるお店に行こうと思う

▶ WEラボ赤ちゃんプロジェクトを広げる

店舗でのオムツ交換台等の設置や子育て向けサービス

- オムツ交換台があるといい
- 頼めば、ミルクのお湯など準備してくれるところもある
- どれだけのサービスがあるか分かっていない
- 知らないから、知っている場所に行き先が固定されがち

▶

雨天時に遊ぶことができる施設

- 室内で体を動かせる「あやテラス」みたいな施設が欲しい
- 公民館や児童館など利便性がよければエアコン必須
- 企業は収益性がないので難しい。事業として成立しない

▶室内の遊び場の検討

安心の職場環境

相談・交流の場

子ども向けのイベント

- 駅北のイベントなどありがたい。ちょっと高いけど
- 子ども会は負のイメージが先行。大人が楽しめるといい
- 地域も時代に合わせた変化が求められる
- 子どもの数の減少とともに、子ども会の活動も減少している

▶

相談、交流する機会

- 大人もほっこりできる雰囲気ありがたい。
- 話を聞いてもらえる場が欲しい。専門職でなくても
- 地域内の高齢者の方にも担ってもらえないか。
- 外に出れる人ではなくて、近く（自治会単位）での支援が必要
- 信頼関係の中、愚痴が言い合える環境、関係づくりが大事
- 転入すると、友達がいなくて家族だけという状況。頼れる人欲しい
- 赤ちゃんから高齢者まで大切にされている雰囲気に。

▶

経済的支援

- 保育料や教育費、給食費の負担軽減
- 医療費など負担軽減
- 不妊治療の助成

保育・教育環境の充実

- 保育施設の確保
- 一時預かりの充実
- 放課後児童クラブの充実

相談、交流する機会

- すくすくひろばみたいな感じの施設があるといい
- 児童館などでもそういったことができないか

▶地域子育て支援拠点の運営

